

第101回 定時株主総会

平成17年9月29日

株式会社 アルバック

1. 営業の概況

(1) 企業集団の営業の 経過及び成果

(1) 企業集団の営業の経過及び成果

■ 経営環境

▶ 米国

原油価格の高騰や金利の上昇の影響などにより、個人消費の伸びが鈍化し設備投資の拡大がスローペース化するなど、小幅な成長となった

▶ 韓国、台湾、中国(アジア)

設備投資の増加などにより、総じて堅調に推移

▶ 日本

製造業全般で設備投資や輸出が増加、個人投資も緩やかに増加するなど、景気は回復基調で推移

(1) 企業集団の営業の経過及び成果

■ 事業環境

▶ FPD (フラットパネルディスプレイ)や半導体関連の業界

設備投資は若干の減速局面があったものの、韓国、台湾、日本、中国を中心に、薄型テレビ(液晶テレビ、プラズマディスプレイ)やデジタルカメラ、DVD(デジタル多用途ディスク)、携帯電話などのデジタル家電関連の投資が積極的に行われた



薄型テレビ



携帯電話



デジタルカメラ

■ 当社グループの対応(1)

▶ 販売

- ◆ 独創的な新製品をタイミング良く市場に投入
- ◆ アルバックソリューションズの推進による積極的な受注活動

▶ 企業買収

- ◆ 富士通ヴィエルエスアイ株式会社からの設備事業譲り受け
- ◆ バイオ事業への進出

▶ 増資(平成16年12月)

- ◆ 次世代技術の開発、事業拡大のために増資
- ◆ 調達資金は、FPDやデジタル家電部品製造装置などの研究開発資金と中国現地法人の設立・増資資金に充当

■ 当社グループの対応(2)

▶ 生産改革

お客様からの価格引き下げ要求が継続するなか、生産改革第2段階の推進によりコストダウンを図るとともに、諸経費の削減を継続することで、固定費の圧縮を進めた



モジュール生産



アルバック東北の機械加工センター | 6

第101期 (H17/6期) 業績 (連結)

(単位: 億円)

	第100期 (H16/6期)	第101期 (H17/6期)	前期比
受注高	1,782	2,062	280 (+16%)
売上高	1,579	1,968	390 (+25%)
経常利益	73	124	52 (+71%)
当期純利益	40	71	32 (+81%)

【()内は増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

■ 財政状態

▶ 収益性の向上、資産効率の改善

自己(株主)資本比率が32.9%
(前期29.0%に比べ3.9%増)

■ 棚卸資産評価損

財務体質の健全性確保の観点から、棚卸資産評価損として、25億92百万円を計上

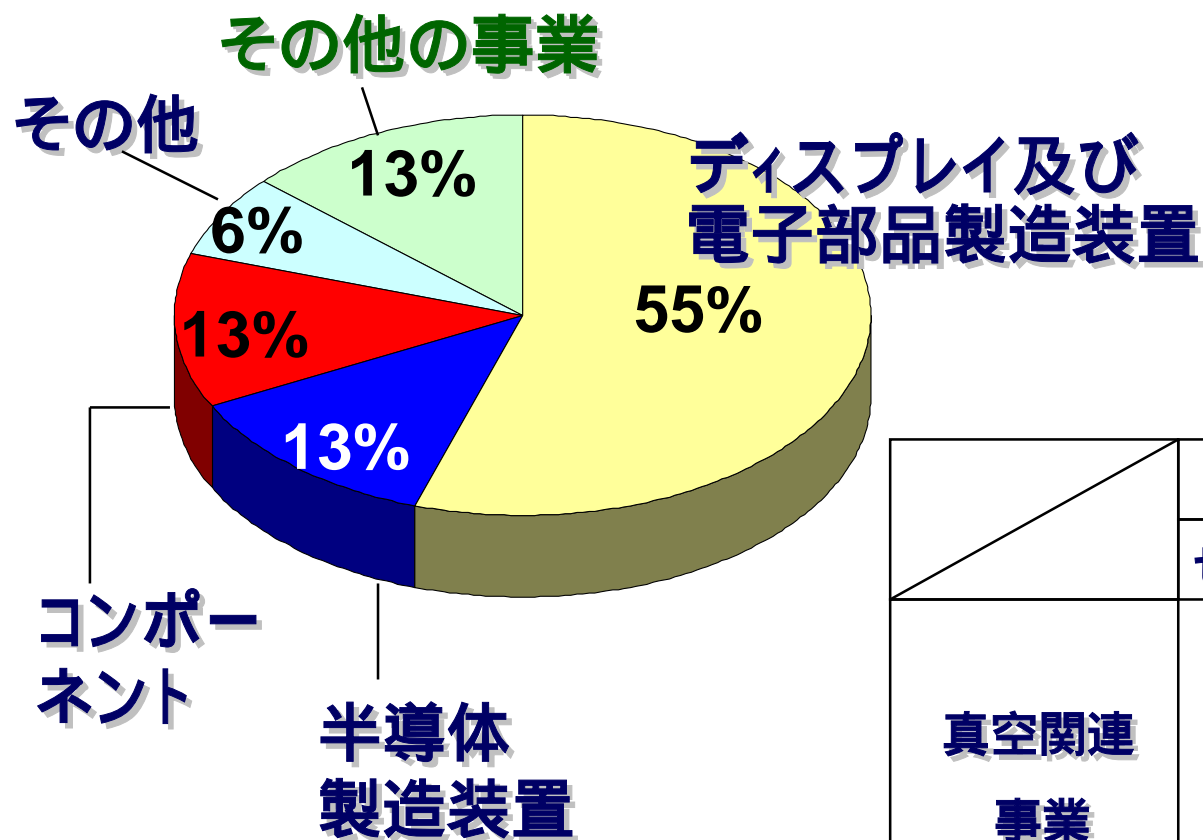
▶ 理由

基板サイズの世代交代や技術革新の激しいディスプレイ製造装置、半導体製造装置に適用したため

▶ 主なもの

- ◆ 有機EL製造用蒸着装置
- ◆ 液晶ディスプレイ用スパッタリング装置
- ◆ 半導体製造用スパッタリング装置など

企業集団の事業セグメント別状況



(単位: 億円)

	売上高	
	セグメント別	品目別
真空関連事業	1,705	1,080 (+34%)
		247 (+23%)
		250 (+19%)
		127 (+2%)
その他の事業	264	264 (+11%)

【百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

()内は増減率

真空関連事業(1)

■ディスプレイ及び電子部品製造装置

- ▶韓国、台湾、中国で第5～7世代液晶ディスプレイやプラズマディスプレイなどの設備投資が積極的に行われた
- ▶SMDシリーズ、SDPシリーズ、ECHシリーズなど売上が好調を維持
- ▶電子部品製造装置で光学薄膜や高密度実装基板用スパッタリング装置などの受注、売上が好調

枚葉式
スパッタリング装置



SMDシリーズ

インライン式
スパッタリング装置



SDPシリーズ

インライン式
真空蒸着装置



ECHシリーズ

真空関連事業(2)

■半導体製造装置

- ▶ デジタル家電関連だけでなく、パワーICなどの自動車部品分野、LEDなどの化合物半導体分野における設備投資が行われた
- ▶ CERAUSシリーズ、ENTRON™シリーズやNEシリーズ、RISEシリーズなどの売上が好調

スパッタリング装置



CERAUSシリーズ



ENTRON™シリーズ

エッチング装置



NEシリーズ



RISEシリーズ

真空関連事業(3)

■コンポーネント

- ▶ 液晶ディスプレイ製造装置向けの大型ドライポンプ、測定器、自動車部品業界や家電業界向け真空ポンプなどの受注、売上が好調

ドライポンプ



液晶ディスプレイ
製造装置向けドライポンプ

測定器



大型FPD用表面形状
/ 抵抗率測定器

真空ポンプ



家電業界向け
真空ポンプ

真空関連事業(4)

■その他

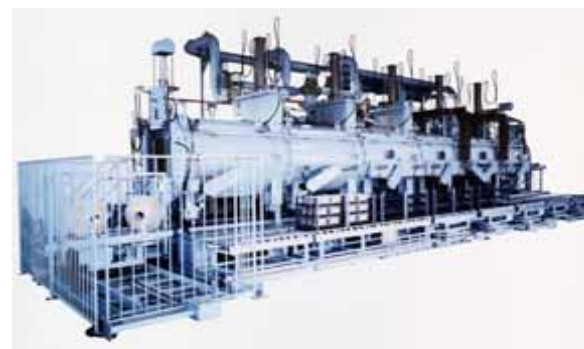
- ▶一般産業用として自動車関連向けのコンデンサ用真空蒸着装置、熱処理炉などの売上が好調

真空蒸着装置



コンデンサ用
巻取式真空蒸着装置

真空熱処理炉



希土類磁石用
連続式真空熱処理炉

その他の事業

■ その他の事業

- ▶ アルバックソリューションズを生かしたグループ一体となった積極的な拡販活動を行い、液晶ディスプレイ・半導体関連用スパッタリングターゲット材料や部品洗浄などの材料ビジネスの受注、売上が好調

スパッタリング ターゲット材料



液晶ディスプレイ用
スパッタリングターゲット



半導体用
スパッタリングターゲット

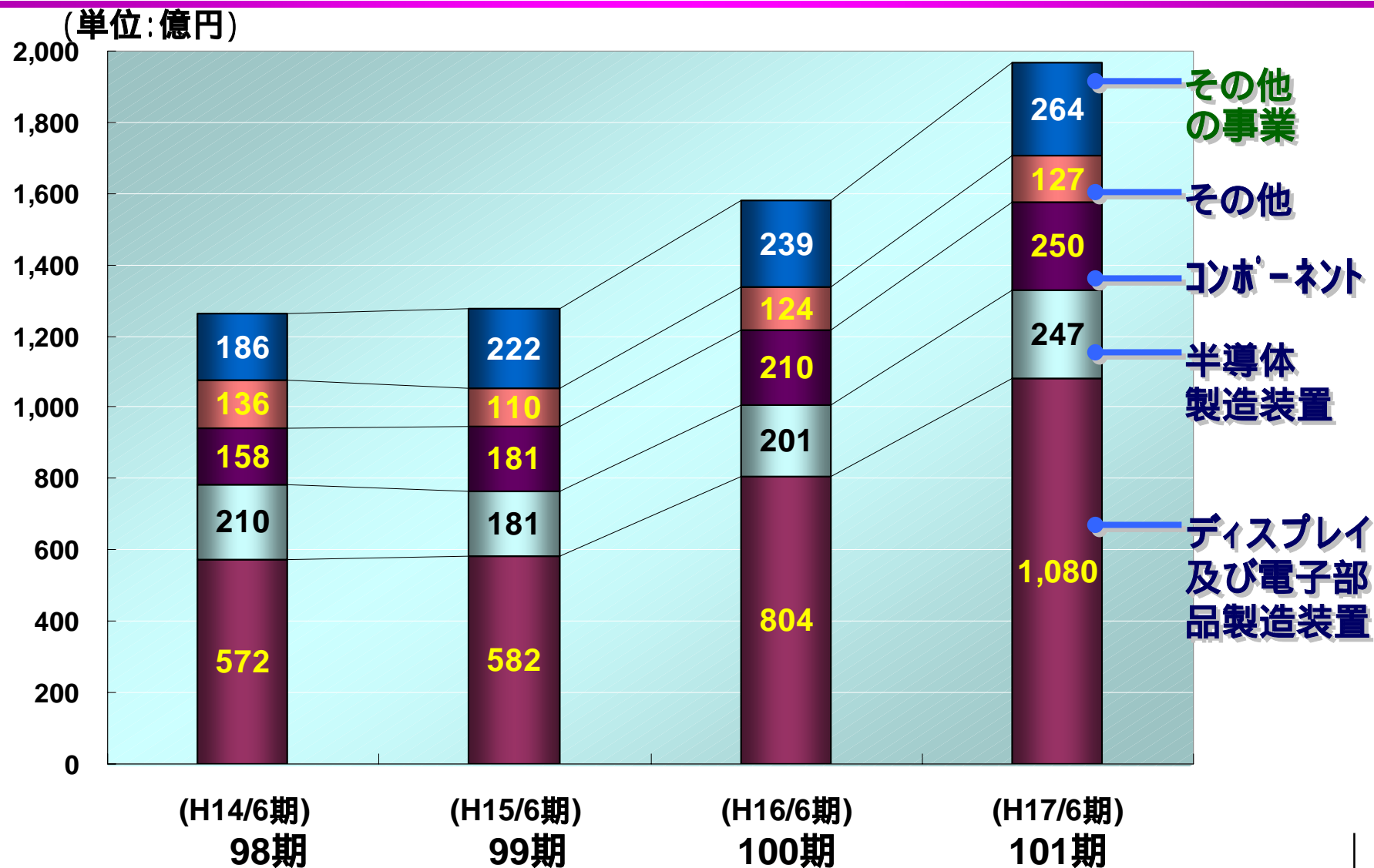
企業集団の事業セグメント別状況(まとめ)

(単位:億円)

事業セグメント	当期受注高		当期売上高		期末受注残高	
		前期比 (%)		前期比 (%)		前期比 (%)
真空関連事業 (営業利益)	1,809 -	117	1,705 136	127	868 -	115
その他の事業 (営業利益)	253 -	105	264 15	111	54 -	83
合計	2,062	116	1,968	125	922	112

【百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

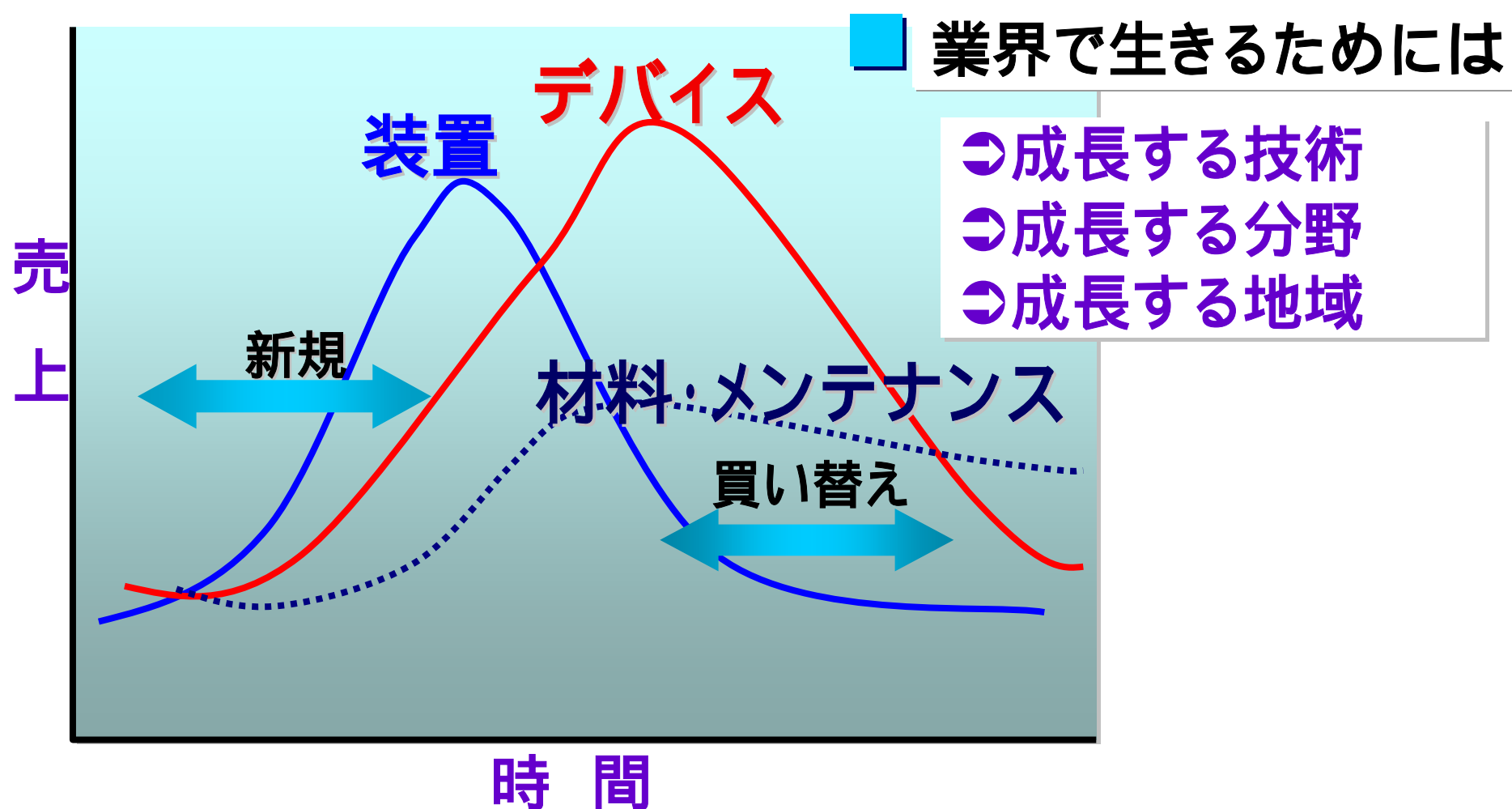
品目別売上高実績



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

(2) 企業集団の 対処すべき課題

製造装置ビジネスの特徴



事業環境(1)

■ FPD・電子部品業界、半導体業界の事業環境

▶ 中期的

FPDやデジタル家電関連分野が周期的な変動をしながら好調を維持すると予想されるものの、液晶ディスプレイの設備投資の成長はいずれ鈍化

▶ 長期的

ハイブリッドカーや二次電池、太陽電池などエネルギー・環境分野で新たな成長が始まると期待

事業環境(2)

■ FPD・電子部品業界、半導体業界の事業環境

▶ 地域

中国が全世界の製造業を牽引し、著しい経済成長が日本や世界の経済に大きな影響力を与える段階になりつつある

中国



事業環境(2)

■ FPD・電子部品業界、半導体業界の事業環境

▶ 製造装置業界

- ◆ デフレ経済の影響による市場価格の下落が継続
- ◆ 製造装置メーカー間における生き残りかけた競争が激化
- ◆ 長期的には、韓国や中国などの製造装置メーカーが台頭し、シェアを獲得する可能性が高まる

■ 中長期の成長戦略

FPDの次に成長する
「4つの柱(ポストFPD戦略)」
を軌道に乗せることに注力

4つの柱

- ▶ デジタル家電用製造装置
- ▶ ハイブリッドカー用部品製造装置
- ▶ 中国市場
- ▶ カスタマーサポート事業とOEM生産

ポストFPD戦略

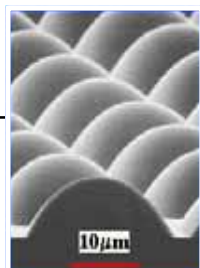
■ デジタル家電用製造装置

▶ 化合物半導体
(LEDなど)

▶ MEMS

▶ 光学薄膜デバイス

▶ 高密度実装



マイクロレンズアレイ



シリコンディープエッチング



エッチング装置



光学薄膜用
スパッタリング装置



スパッタリング装置

デジタル家電用デバイスの
製造装置の開発と拡販

ポストFPD戦略

■ ハイブリッドカー用部品製造装置

▶ 永久磁石
(モーター用希土類磁石)

▶ コンデンサー
(フィルムコンデンサ)

▶ パワーIC
(極薄ウエーハ、SiC等)



真空焼結炉



真空蒸着装置



真空溶解炉



スパッタリング装置



イオン注入装置

ハイブリッドカーに使用される部品の
製造装置の開発と拡販

ポストFPD戦略

■ 中国市場

- ▶ コンポーネント
- ▶ 一般産業機器
- ▶ 電子機器
- ▶ FPD・半導体



コンポーネントを量産する
寧波アルバック

ローテクからハイテクまで同時に成長する
中国市場に早期に進出

製造装置やコンポーネントの現地生産を
推進しシェア拡大をめざす

ポストFPD戦略

- **カスタマーサポート事業とOEM生産**
 - ▶ **材料、消耗部品、洗浄、サービス**
 - ◆ **CSソリューションパッケージ**
 - ▶ **OEM生産**



光学膜用スパッタリング装置
MetaMode®

お客様に密着したサービスを提供し、お客様との信頼関係を確保

材料、消耗部品、洗浄などのビジネスを推進し、変動の激しい製造装置ビジネスの安定化と収益向上をめざす

コストダウン戦略

■ 製造業の原点にもどり生産改革の推進

良い物を安く、速く、万全のサービスを提供しながら利益をあげる

■ 生産本部を核に攻守織り交ぜた施策の実施

▶ 攻めの施策

～コストダウンと納期(リードタイム)短縮

▶ 守りの施策

～追加原価の発生、納期遅延を抑制

生産改革を推進し、製品の価格競争力と収益力の向上をめざす

受注拡大戦略

- **新製品の開発により、装置のラインナップを増やし受注拡大をめざす**
 - ▶ **FPD製造装置、半導体製造装置、コンポーネント、一般産業機器、分析機器などの「既存分野」**
- **次世代技術や最先端技術に関する設備投資が積極的に行われると予測される市場への事業展開**

受注拡大戦略

- 中長期的な視野にたった受注拡大を図る
 - ▶ 新たな成長のための「ポストFPD戦略」の4つの柱の構築を軌道に乗せることに注力
- 「アルバックソリューションズ」を活用し、シナジー効果による受注拡大をめざす
 - ▶ お客様の生産品目に合わせて、製造装置、材料、分析機器、コンポーネント、サービスなどをパッケージとして提案

財務戦略

- 営業活動によるキャッシュ・フローの獲得
 - ▶ 収益力の向上、運転資金の圧縮などに一段と注力

- 獲得した営業活動によるキャッシュ・フローは、新商品開発戦略、グローバル化戦略の実現に向けた投資資金に充当

新商品開発戦略

■ 競合他社が真似できない独創的で最先端の新製品を開発

▶ FPD分野

- ◆ 大型基板ディスプレイ製造装置
(第7世代以降の液晶ディスプレイや
プラズマディスプレイパネル)



固体レーザーアニール

- ◆ 固体レーザーアニール装置

- ◆ 有機ELなどの
次世代ディスプレイ
製造装置



有機EL用真空蒸着装置

- ◆ インクジェット
プリンティング装置



生産用 Litrex M700 32⁺
Copyright ©2005, ULVAC, Inc.

新商品開発戦略

■ 競合他社が真似できない独創的で最先端の新製品を開発

▶ 半導体分野

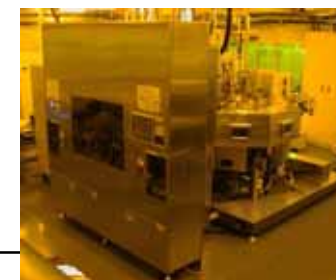
- ◆ 化合物半導体
- ◆ MEMS
- ◆ デジタル家電デバイス用製造



エッチング装置

▶ 電子部品分野・コンポーネント

- ◆ 高密度実装基板
- ◆ 光学薄膜
- ◆ 液晶ディスプレイ製造装置用
大型ドライポンプ



スパッタリング装置



光学薄膜用スパッタリング装置

グローバル化戦略

成長する地域である韓国、台湾、中国を中心に引き続き事業の拡大を図ります

■ 中国

子会社の設立と
事業統括会社の設立準備

▶ 家電や自動車関連部品の
漏れ探し装置などを製造・
販売する会社を子会社化
(平成16年10月)

▶ コンポーネント用部品を製造
する子会社設立(平成17年1月)



アルバック成都



アルバック天馬

グローバル化戦略

■ 中国

- ▶ 希土類磁石製造用真空
熱処理炉などを製造・販売
する子会社設立(平成17年1月)



- ▶ カスタマーサポート事業
推進のためのCSソリュ
ーション工場の設立



設立した各工場での生産の立上げを推進

グローバル化戦略

■ 韓国

- ▶ 第7世代以降の液晶ディスプレイ製造装置の生産や部品洗浄、大型部品加工工場での生産を軌道に乗せ、お客様との関係強化を図る



グローバル化戦略

■ 台湾

- ▶ 液晶ディスプレイ製造装置の現地生産を行うための子会社設立
- ▶ 部品製作や洗浄などのフィールドサポートの顧客サポートを行う子会社設立



台湾政府との投資提携調印式
(平成17年8月8日)

グローバル化戦略

■ 東南アジア

- ▶ お客様満足度向上のため拠点を増設
- ▶ カスタマーサポート体制の強化

■ ロシア

- ▶ 子会社設立(平成17年4月)し、カスタマーサポートを中心に事業拡大の足がかりをつくる



アルバックロシア

真空技術をコア技術とし、製造装置や材料、サービスなど総合的なソリューションを提供するグループとして事業の拡大に努め、株主各位のご期待に応えてまいります

(3) 企業集団の 資金調達の状況

資金調達状況

■ 増資 (平成16年12月)

12月 7日	公募増資	80億69百万円
12月28日	オーバーアロットメント による売出しに伴う 第三者割当増資	9億63百万円

■ 資金使途

第101期 (H17/6期)

▶ 研究開発資金	20億円
▶ 中国進出の資金	10億円

第102期 (H18/6期)

▶ 研究開発資金	35億円
▶ 中国進出の資金	10億円
▶ Litrex 残余50% 株式取得	15億円

(4) 企業集団の 設備投資の状況

設備投資の状況(主なもの)

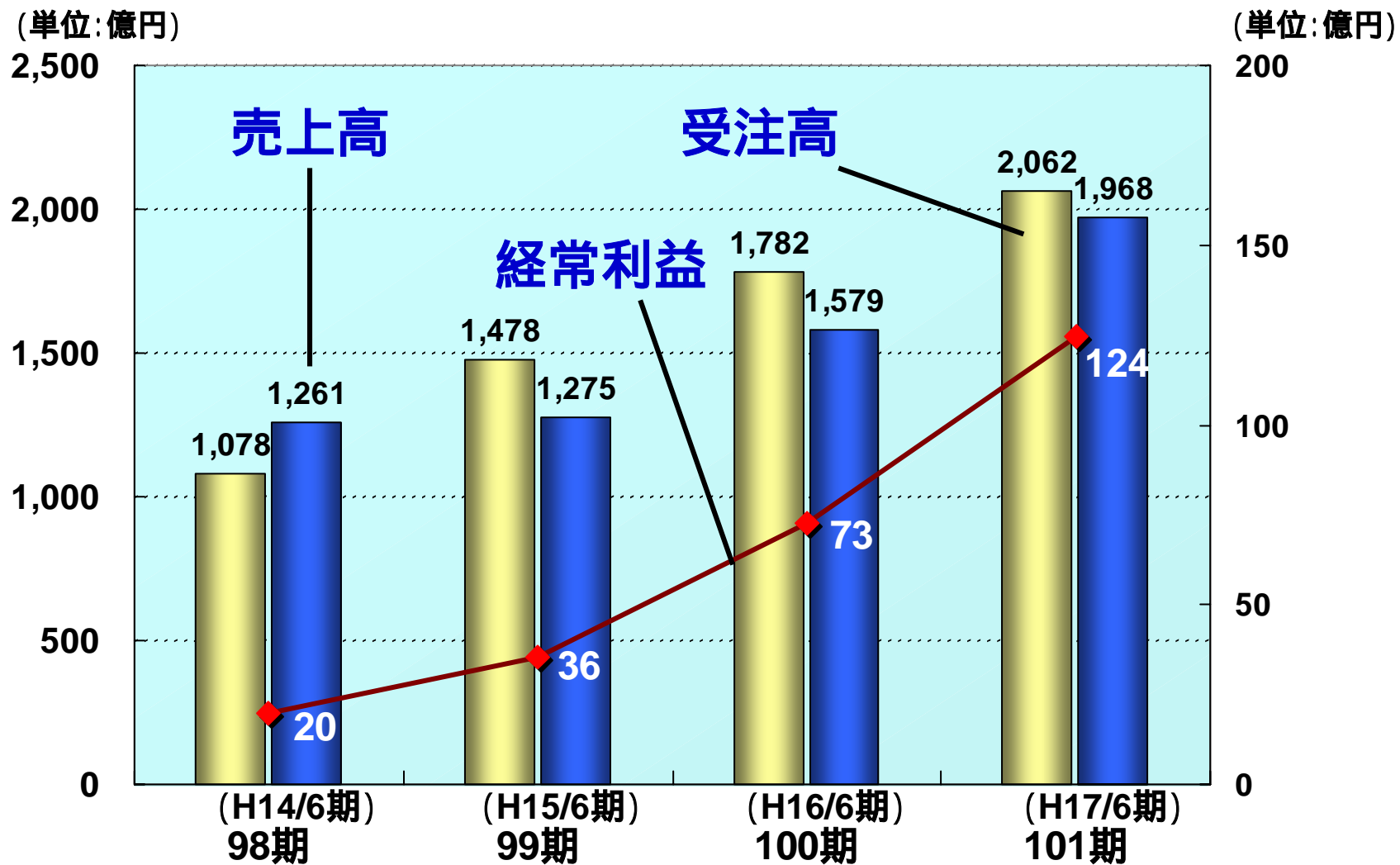
- 電子機器関連及び半導体のスパッタリング、CVD、エッチングなどの評価装置
- 玄谷(ヒョンゴク)工場建物
(ULVAC KOREA)
- 鹿児島事業所建物
ドライポンプ生産設備
(当社、アルバック精機)



投資総額: 172億14百万円

(5) 企業集団及び当社の 営業成績及び財産の 状況の推移

企業集団の営業成績の推移



2.会社の概況

生産・サービス体制(国内)

主要生産拠点 3ヶ所

生産分担工場2ヶ所
(アルバック共業グループ)

ISO9001/14000認定取得



主な生産品目

- ・FPD製造装置、産業機器他
- ・大型真空装置部品
- 機械加工他

八戸

ISO9001/14000認定取得



茅ヶ崎本社・工場

主な生産品目

- ・FPD、電子部品製造装置
- ・コンポーネント
- ・産業機器、超高真空装置

岐阜事業所

主な生産品目

- ・FPD製造装置
- ・半導体製造装置

富士裾野工場

ISO9001/14000認定取得



主な生産品目

- ・半導体製造装置

ISO9001/14000認定取得



鹿児島

主な生産品目

- ・FPD、電子部品製造装置
- ・コンポーネント、先端材料など

生産・サービス体制(海外)



連結財務諸表

連結貸借対照表(資産の部)

	101期 (H17/6期)	100期 (H16/6期)	増減
流動資産	1,472	1,369	104
現金及び預金	175	179	3
受取手形及び売掛金	686	664	22
たな卸資産	525	472	52
繰延税金資産	45	30	15
その他	44	27	17
貸倒引当金	2	2	1
固定資産	770	638	133
有形固定資産	539	463	75
建物及び構築物	228	207	21
機械装置及び運搬具	189	142	47
工具器具及び備品	22	19	4
土地	75	74	1
建設仮勘定	24	22	2
無形固定資産	44	24	20
投資等	187	150	37
投資有価証券	102	85	17
差入保証金	13	13	0
繰延税金資産	35	29	6
その他	40	25	15
貸倒引当金	2	1	1
繰延資産	-	0	0
資産合計	2,243	2,006	236

(単位:億円)

売上増による

期末受注残高増加による

韓国玄谷工場、大型ドライポンプ工場など

FPD・半導体製造装置関連などの評価機の資産計上による

関係会社投資
(韓国アルバック精密、PS Tech、中国アルバック天馬、アルバック中北、アルバック蘇州、アルバックロシア等)

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

連結貸借対照表(負債・資本の部)

	101期 (H17/6期)	100期 (H16/6期)	増減
流動負債	1,185	1,043	142
支払手形及び買掛金	553	502	52
短期借入金	320	348	28
一年以内償還予定社債	25	5	20
未払法人税等	47	26	21
繰延税金負債	0	0	0
賞与引当金	13	11	2
製品保証引当金	23	23	0
その他	203	128	75
固定負債	282	349	67
社債	2	27	25
長期借入金	178	232	54
退職給付引当金等	90	79	11
役員退職慰労引当金	9	9	0
その他	3	3	0
負債合計	1,467	1,392	74
少数株主持分	37	33	5
資本金	135	90	45
資本剰余金	147	102	45
利益剰余金	450	389	61
その他有価証券評価差額金	6	7	0
為替換算調整勘定	1	5	6
自己株式	0	0	0
資本合計	739	581	157
負債・資本合計	2,243	2,006	236

(単位:億円)

営業CF増加にともなう返済

社債償還

約定返済

平成16年12月増資による

連結損益計算書

(単位:億円)

	第100期 (H16/6期)	第101期 (H17/6期)	前期比
売上高	1,579	1,968	390 (+25%)
営業利益	85	153	68 (+81%)
経常利益	73	124	52 (+71%)
当期純利益	40	71	32 (+81%)

【()内は増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

財務諸表(単体)

貸借対照表(資産の部)(単体)

(単位:億円)

資 産 の 部			
科 目	第101期 (H17/6期)	第100期 (H16/6期)	増減
流 動 資 産	896	801	94
現金及び預金	87	70	17
受取手形及び売掛金	511	507	4
たな卸資産	230	195	35
繰延税金資産	26	15	11
その他の	42	14	28
固 定 資 産	581	464	117
有 形 固 定 資 産	349	296	54
建物及び構築物	124	119	5
機 械 装 置	146	102	45
その他の	79	75	4
無 形 固 定 資 産	27	4	23
投資その他の資産	205	164	40
投資有価証券等	178	141	37
その他の	26	23	3
繰 延 資 産	-	0	0
資 産 合 計	1,477	1,266	211

期末受注残高増加による

FPD・半導体製造装置関連
などの評価機の資産計上による

関係会社投資
(アルバックコリア、アルバック成都、
アルバック中北、アルバック蘇州、
アルバック東北等)

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

貸借対照表(負債・資本の部)(単体)

負債の部				(単位:億円)
科目	第101期 (H17/6期)	第100期 (H16/6期)	増減	
流動負債	769	601	168	
支払手形及び買掛金	439	335	105	● 受注高、受注残高増加による
短期借入金(1年以内含む)	162	187	24	● 営業CF増加にともなう返済
未払金等	80	38	42	
その他	87	42	46	
固定負債	158	245	87	
社長期借入金	-	25	25	
その他の	112	181	69	● 約定返済
負債合計	46	39	7	
負債合計	927	846	81	
資本の部				
資本金	135	90	45	● 平成16年12月増資による
資本剰余金	147	102	45	
利益剰余金	263	222	40	
株式評価差額金	6	6	0	
自己株式	0	0	0	
資本合計	550	420	130	
負債・資本合計	1,477	1,266	211	

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

損益計算書(単体)

(単位:億円)

	第100期 (H16/6期)	第101期 (H17/6期)	前期比
売上高	1,110	1,397	288 (+26%)
営業利益	30	70	40 (+132%)
経常利益	43	77	34 (+78%)
当期純利益	28	49	21 (+78%)

【()内は増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

第101期営業報告書、貸借対照表、
損益計算書および連結貸借対照表、
連結損益計算書のご報告を終了
いたします

役員の報酬等について

■ 役員報酬

「役員報酬基準」を設け、役位毎に支給額を決定

■ 役員の賞与

「役員賞与支給基準」を設け、経常利益率により
支給月数を規定

■ 役員退職慰労金

役員退職慰労金規程に基づき、役位別に係数を定め、その役位の在任年数により算出

▶ これらの基準および規程につきましては、本社および各支店に備え置きし、閲覧が可能になっております

敵対的買収に対する考え方

■ 基本姿勢

投資家をはじめ全ステークホルダーの利益を第一に

■ 敵対的買収を受けた時の対応

全ステークホルダーにご理解、ご支持頂くことが最大の防衛策

あらゆる媒体(書簡・新聞広告・インターネット・マスコミなど)を通じて
随時クイックな意見表明を行い、社会にアピール

▶ 投資家の皆様へ

投資家説明会の複数回開催(インターネットでの配信も行う)

・社長による当社の具体的な経営方針・見通しなどを説明し、意見交換を実施

▶ 従業員、取引先などへ

・当社及びグループ会社の全従業員に説明会を実施

・取引先などへの直接説明を行う

当社は、常に業績向上・積極的IR活動に努めています。更に、敵対的買収に対する対応マニュアルを作成し、即時対応可能な体制を整えていきます。

決議事項

第1号議案

第101期利益処分案承認の件

第2号議案

定款一部変更の件

第3号議案

取締役7名選任の件

第4号議案

監査役1名選任の件

第5号議案

退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

第1号議案 第101期利益処分案承認の件

利益処分案

(単位:円)

摘 要	金 額
当 期 未 処 分 利 益	6,912,490,680
固定資産圧縮積立金取崩額	16,624,422
計	6,929,115,102
これを次のとおり処分いたします。	
利 益 配 当 金 1株につき30円	1,287,136,020
役 員 賞 与	102,280,000
(うち監査役賞与)	(12,400,000)
別 途 積 立 金	2,700,000,000
次 期 繰 越 利 益	2,839,699,082

配当方針について

■第101期配当(H17/6期)

- ▶当期の利益配当金につきましては、当期の業績や次期の見通しを考慮するとともに、売上高及び経常利益が過去最高を更新いたしましたので、下記の通り増配いたします

【第100期】普通配当 10円 + 記念配当10円

普通配当 + 20円



【第101期】普通配当 30円

配当方針について

■第102期(H18/6期)以降

連結当期純利益に対する配当性向
20%をめざす

今後、自己(株主)資本比率が上昇
した段階で、更に配当性向を引き上
げること検討

第2号議案 定款一部変更の件

■ 変更の理由

- (1) 株主の皆様へのサービス拡充の観点から、商法221条ノ2に規定する単元未満株式の買増制度の導入をいたしたく、定款第8条(単元未満株式の買増しを新設するとともに、現行定款第10条(株式事務)、第11条(株式取扱規程)及び第12条(基準日)について所要の変更を行うものであります。
- (2) 現行定款上、監査役の定員は4名以内とされておりますが、監査体制の一層の充実・強化を図るため、監査役の定員を1名増員し5名以内とするものであります。

第2号議案 定款一部変更の件

■ 変更の理由

- (3) 第8条(单元未満株式の買増し)の新設に伴い、
現行定款第8条以下を1条ずつ繰り下げるもの
であります。
- (4) あわせて、一部表現の整備を行うものであります。

第3号議案 取締役7名選任の件

[取締役候補者(7名)]

天野 繁
藤山 潤樹
加藤 丈夫
石崎 淳一
佐藤 孔史
本吉 光
中野 佳信

[非改選(10名)]

中村 久三
諏訪 秀則
小日向 久治
山川 洋幸
桜田 勇蔵
中村 静雄
常見 佳弘
砂賀 芳雄
福田 隆
木村 光利

(取締役定員:18名以内)

第4号議案 監査役1名選任の件

[監査役候補者(1名)]

[非改選(4名)]

原 稔

菊城 宏

川島 和也

佐藤 恒雄

長澤 正人

第5号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

本総会終結の時をもって任期満了により取締役を退任されます小林茂人、柏木利廣、牧野正志の各氏に対し、その在任中の功労に報いるため、当社所定の規程に基づき、相当額の範囲内において、退職慰労金を贈呈いたしたいと存じます。

なお、その具体的な金額、贈呈の時期、方法等は、規程に基づき、取締役会で決定いたしますので、ご一任願いたいと存じます。